

# 東京トレッキングクラブ

## T. T. C. 会 報 2016年 1月号

会長：阪本弘二

<http://www.tokyo-trekking-club.jp/>

### 《 1 月 の 山 行 計 画 》

#### No.3,213 高柄山北稜～栃穴御前山 <B> L五十嵐知也

1月6日(水)7:47高尾発河口湖行＝8:10四方津 歩き出し－50分久保取りつき－3時間  
高柄山－1時間30分栃穴御前山－1時間上野原

歩程:6時間20分+1時間・・・7時間20分 15:30上野原駅に着く。

地図:2.5万図“上野原”

費用:約2,000円

申し込み:1月4日(月)までに電話又はCメールでリーダーへ。

#### No.3.214 <sup>みず</sup>皇鈴山から<sup>とやさん</sup>登谷山 <C> L高橋輝男

1月10日(日)7:45東武東上線池袋発急行小川町行＝9:01小川町駅9:12白石車庫行  
バス＝9:40内手 9:50歩き出し－1時間20分二本木峠－30分皇鈴山－25分登谷山  
－25分釜伏峠－50分秋山－25分JR折原駅

歩程:3時間55分+1時間35分・・・5時間30分 15:20折原駅に着く。

地図:2.5万図“安戸、寄居”

費用:約2,500円

申し込み:1月8日(金)までにリーダーへ。

#### No.3.215 手賀沼ウオーキング L中神琳枝

手賀沼周辺を歩き解散後に恒例の鍋山行をのんびりと楽しめます。

1月10日(日)10:00地下鉄千代田線・常磐線(各駅)北柏駅南口集合 10:10歩  
き出し－20分北柏ふるさと公園－40分手賀沼公園－30分親水広場－30分滝前広場－  
25分天王台

歩程:2時間25分+2時間35分・・・5時間 15:10天王台駅に着く。

地図：不要（沼沿いに歩く） 2.5万図 “流山、取手”

費用：約 1,100 円

申し込み：1月8日（金）までに電話又は葉書でリーダーへ。

**No.3,216** 三床山ー一床山 <C> L 阪本弘二

冬枯れの展望のよい低山を歩きます 27年2月中止の再計画です

1月17日（日）7：06 浅草発太田行区間急行＝8：45 館林8：50＝9：20 田沼  
タクシー15分鹿嶋神社 10：00 歩き出しー50分三床山ー40分二床山ー20分一床山  
ー1時間鹿嶋神社

歩程：2時間50分＋1時間……3時間50分 13：50 鹿嶋神社に着く。タクシ  
ーで田沼駅へ。

地図：2.5万図 “田沼”

費用：約 4,500 円

申し込み：1月15日（金）までにハガキ・TEL・FAXでリーダーへ。

備考： 新ハイ No686 参照

**No.3,217** ゲレンデスキー嬢恋 L 飯田隆一

1月19日（火）8：00 東京発北陸新幹線「あさま 653号長野行」＝9：03 軽井沢  
9：30 発送迎バス＝11：00 パルコール嬢恋 チェックイン後更衣室で着替えてゲレ  
ンデへ。半日滑降。宿泊は「パルコール嬢恋リゾートホテル」〒377-1611 群馬県  
吾妻郡嬢恋村干俣バラキ高原 TEL0279-96-1166

1月20日（水）一日滑降し16：30 ホテル発のバスで軽井沢駅へ。

費用：軽井沢までの交通費＋12,894円（1泊2食、2日間のリフト券代、軽井沢駅  
からの送迎費、入湯税を含む。ただしスタンダードツインの場合）

申し込み：1月5日（火）までに電話、FAX、携帯SMSでリーダーへ。

**No.3,218** 浜離宮から銀座ウオーキング L 飯田隆一

1月22日（金）JR新橋駅汐留口10：00 集合ー浜離宮散策ー銀座を八丁目から二  
丁目まで歩くー銀座2丁目の福助で会食

歩程：約2時間

費用：約 5,000 円

申し込み：1月10日（日）までに電話、FAX、SMSでリーダーへ。（会場予約  
の関係で締め切りを早くしました。）

**No.3,219** 高尾山 <C> L 佐藤ツヤコ

シモバシラが見えることを期待して

1月24日(日)京王線高尾山口駅9:00 集合—東京高尾病院前—2号線—高尾山—釣り橋—4号線—高尾山口

歩程:約3時間30分+1時間・・・4時間30分 薬王院を参拝すればもう少し時間がかかります。

地図:昭文社“高尾、陣馬”

費用:新宿起点約1,000円

備考:新年なので下山後希望者で高尾山口駅周辺の店に立ち寄りましょう。

## 《 山 行 報 告 》

### No.3,189 矢沢(沢歩き初級) <B>

参加者が無しのため中止しました。

### No.3,190 志賀高原の散策 <C>

パーティ:女性6名

10月2日(金)曇後晴。宿で持参の昼食後、県天然記念物指定の樹齢800年という「シナノ木」を見に行く。ダイヤモンドスキー場の北斜面にひっそりと生き抜いてきた一際存在感を示すように大きく聳えているが風雪か台風の為か本体が上の方で折れている。この道は遊歩道になっており歩き易い。ひと巡りして宿に戻る。後はお喋りと温泉でのんびりする。

宿歩き出し13:05—15:00宿着。

10月3日(土)晴。バスに乗り硯川で下車。リフトに乗って渋池、四十八池と「池巡り」をする。草紅葉の秋の湿原は静かで趣きがある。リンドウの残り花の色が鮮やか……。硯川バス停に戻って渋峠までバスに乗る。途中バスの中からの赤、黄、緑のグラデーションが素晴らしい。渋峠からスキー場の中の登山道を登り、本日のお目当ての日本一高所で焼かれるパン屋として名高い「横手山ヒュッテ」で不肖私のいち押し「ボルシチとパン」の昼食をとる。ボリュームがあって美味しい。昼食後展望台に登り景色を眺める。今日は快晴で志賀の山を近くに、遠くは富士山迄見えました。その後横手山で更に展望を楽しんでから登ってきた道を渋峠迄下降し、バスで宿に戻りました。今日は爽やかな快晴の中、紅・黄葉を楽しみ、グルメを味わうのんびりした一日でした。

硯川リフト上歩き出し9:00—渋池・四十八池巡り—11:30硯川11:37硯川(バス)=11:55渋峠。12:00歩き出し—12:30横手山山頂ヒュッテ(昼食)13:30

(展望台経由) - 13:50 横手山 - 14:20 渋峠。14:48 (バス) - 16:15 宿着

10月4日(日) 奥志賀ゴンドラで一気に2,000m近く迄昇り、稚児池(焼額頂上)迄スキー場の中を登る。マツムシ草の群落と紅葉が目を楽しませてくれる。スキーで何度もこの辺りを滑っているが2,000m越えの焼額山頂がこんなに広い稚児池の傍らに有るとは知りませんでした。樹林に囲まれた静かな池です。スキー場の中を、更に樹林の中、湿原の木道などを歩いて高天ヶ原スキー場前のホテルで昼食をして宿に戻りバスで長野駅へ出て解散しました。三日共天候に恵まれ、のんびりと志賀高原の秋とお喋りを楽しみました。下りが多く、登り足りなかった方が居たかも知れませんが御協力有難度うございました。

奥志賀ゴンドラ上歩き出し9:15-稚児池・焼額頂上經由高天ヶ原スキー場前のレストラン11:50(昼食)-12:40宿へ。13:05(バス)長野駅(解散)

(佐藤(ツ)記)

### No.3,191 ナットウ箱山・達沢山・旭山 <B>

パーティ:女性3、男性2名 計5名

<事前>久し振りに計画した山行。甲し込み来ない。計画倒れかな?

相変わらず私の山行は人気ないな。やはり営業するんだったかな。

思いを巡らせていたが、何とか4人集まりました。

=サア、行きますゾー。 =長丁場になるかも知れないし。

=迷うかも知れないし。 =覚悟は出来てる?

<当日>10月4日(日)とっておきの快晴日和

8:40 甲斐大和で予約のタクシーに。この辺りのタクシーは5人までつめてくれるので、一台で済む。助かります。冬場はゲート止まりだが、今日はトンネル手前まではいってくれる。長い林道歩きカット。ついてるゾ。9:00 歩き出し。峠はすぐ上。10分で笹子峠着。9:40 中尾根の頭。先があるからと厳しく歩く。10:30 カヤノキビラ。まだまだ先があるから、と、甘やかさず歩く。11:35 あれっ!! ついちゃった。ここで本日のメイン、ナットウ箱山。12:40 達沢山。14:50 旭山。15:40 バス停ゴール。

<そして>朝のタクシーさままで1H30Mカット。早く下山出来る。ちょっと一ヶ所戸惑いましたが、みんなしっかり歩きました。鹿除けネットにおりてしまい、ネット沿いに5人でウロチョロ。鹿でもないのに鹿みたい。出たいよー。出口はどこだー。助けてくれー。Yくんの手助けでオリの外へ。一日数本のバスに、すぐ乗れる。ナットウ箱山頂は広々してのどかな所でした。狭くて小さい納豆容器をイメージしてたのでおや?おや?おや? でも賢いSさんいわく。七つの頭の意味では?と。そういえば七つ位ピーク越えてかも。。。流石です。フムフム納得。山を始めた古い昔、い

ちばんこわいのはリーダーでした。次がクマでしたが今は我が体力。かなり無茶な歩き方してる。でも参加者の「楽しかった」のことに癒されて、さて次はどこへ？アオバトの切ない鳴き声に秋を感じた山行でした。 (神戸 記)

### No.3,192 会津朝日岳 <B>

パーティ：女性2、男性4名 計6名

10月2日(金) 11:22 大宮で6名が同じ新幹線に乗り浦佐、上越線の小出乗り換え、只見線で只見駅 14:28 着。宿の車の送迎を受け駅裏手の三石神社を見学して「民宿やすらぎ」へ。駅からは大分離れていたが観光局から周辺の山に詳しいご主人の宿と紹介され決定したという。夕食も採れたての新鮮野菜や神奈川県三浦から取り寄せた珍しいマグロの頭の部分の刺身、枝豆など大変満足で女性陣はこの食事と居心地の良さにまた宿泊を希望したいというほどだった。

10月3日(土) 晴。5時起床、朝食はお弁当にしてもらい5時半に車で登山口まで送ってもらおう。帰りも登山口まで迎えに来てもらうことになり登山に不必要なものは宿に置き荷物を軽くできた。5:50 登山開始。ワンピッチ目はゆっくりのスタートで初参加の私にもこれは楽な速度だと感じての登山開始だった。35分歩き一回目の休憩、2ピッチ目になると様子を見ていたトップが速度を上げたのであまり余裕もなくなってきた。三吉ミチギの水場で少し休憩して上の稜線の人見の松まで400m 1時間の急登、ブナ林を歩く。見晴のいい稜線でひとまず朝食をとる。眼下には雲海が広がる。宿のご主人もここまで我々高齢者グ

ループの様子を見に上がって来られ、安心したのかそこからは下山するという。叶ノ高手まで100m登りそこから100m下り、登り返したところで林に隠れた熊ノ平避難小屋に入る。小屋内は薄暗く綺麗ではなかったが床に囲炉裏のようなものがあり仮宿泊には充分と思われた。小屋を出てしばらく歩くと新人の私は足に攣りを感じグループの人に下山を訴えると、同行者が攀った人用にと常備の漢方の芍薬甘草湯と塩の塊を渡してくれ、これにより劇的に改善、登山を継続することができた。単独登山ならば登頂を諦めるころだった。小屋から1時間弱、最後の岩場の急登をこなして山頂に。しかし方位版があるのは少し先の頂きでそちらに移動。そこが会津朝日岳の山頂。360度の視界を楽しむことができた。晴れた青空を背に始まった紅葉も美しく満足の山頂景色を堪能しつつ食べ残した食事をする。迎えの車の時間を気にしながら20分だけの山頂滞在だった。引き上げる頃には多くの登山客が登頂してきた。10:40 山頂出発、岩場の下りは慎重にストックは畳み手袋はするようにアドバイスを無事に通過、避難小屋まで40分。叶ノ高手へ35分、人見の松で宿に電話して登山口での到着時間を伝える。三吉ミチギの水場で残りの食事を取り一気に下山。14:05 到着。車も到着してすぐに宿に向かう。宿で荷物の受け取りと着替えをし、お茶と枝豆も出し

てもら。駅まで送ってもらい予定通りの電車に乗ることができた。結局男性陣で一番若い私が一番体力のないことが判明したTTCデビューだった。

登山口 5:50-三吉ミチギ 6:54~59-人見の松 7:58~8:23-叶ノ高手 8:40-避難小屋 9:15~25-山頂 10:20~40-避難小屋 11:21~28-叶ノ高手 12:03~10人見の松 12:26~55-三吉ミチギ 1:08~18-登山口 14:03 着。  
(成川記)

### No.3,193 小下沢 (沢歩き初級) <B>

パーティ：男女各1、計2名

10月7日(水)晴。高尾発小仏行バスは平日にも関わらず超満員。老若男女のハイカーが好天に誘われ山にくり出したのか。林道から入渓し予想以上に澄んだ水を楽しみ約2時間できれいなキャンプ場跡に着いた。

時折小さな滝があるが少し飽きた頃、堰堤が現れこれは右をまいた。2つ目の堰堤は腕力で乗越し、瀬川さんはまいてもらった。遡行約4時間ゴルジュを通過した後、目標地点に到着した。釜のある2mと2段5mの滝だ。やや悪いが問題なく登り、ザイル確保で瀬川さんも無事登り切った。

沢装備を解除して、日当たりの良いキャンプ場跡の広場で休憩してから林道を下り14:41のバスに間に合った。

大下バス停 8:25-入渓点 9:00-キャンプ場跡 11:00-2m、2段5m滝 13:00-大下バス停 14:30 (五十嵐 記)

### No.3,194 八海山 <A>

申込者が居なかったため中止しました。

### No.3,195 高檜山~板沢山 <B>

林道が通行不能の為中止しました。

### No.3,196 牛飼尾根~三頭山~大茅尾根 <B>

天候不良の為12月5日(土)に変更しました。

### No.3,197 野川を歩く

パーティ：女性6、男性1名 計7名

10月18日(日)晴。駅を西に出て線路沿いの道を歩き野川へ。兵庫橋を渡り、いったん兵庫島に入る。野川と多摩川の合流点で大きな空間が広がる河川敷では家族連れのレジャー・スポーツ花盛り。さてここから野川沿いを歩くが今日は地元の山本さん

の案内と助言もありしはたすかります。野川は整備された道が続き、水が澄み鯉が泳ぎ水鳥・鴨があそぶ。ときおりサイクリングの人に行き合う静かな道は快適な川めぐりが続きます。高速道路・大正橋を過ぎると前方左手に次太夫堀公園が見えてきます。次太夫堀公園は昔懐かしい“里のイメージ”のある公園で用水路・水田を復元し、江戸時代の農家であるカヤ葺きの旧加藤家・半農半商の旧城田家の2棟がある。今日はかじ屋の職業の再現もあり楽しみ、のどかな風景に浸る。この先は「きたみふれあい広場」を目指す。野川沿いの道を進み小田急線の車庫を囲い、ふたをした屋上部に広場を整備した公園で日本庭園もあり憩う人で賑わう。最後の休憩をとり山本さんの案内で喜多見駅に着き解散する。

二子玉川駅 10:10 歩き出しー兵庫島公園 10:20ー水道橋 11:10ー次太夫堀公園 12:00ー昼食 12:10~40ー次太夫公園民家園散策 12:45~13:05ーきたみふれあい広場 13:55~14:30ー喜多見駅 14:42 (中神 記)

### No.3,198 本栖湖から烏帽子岳ーパノラマ台ー三方分山ー女坂峠ー精進湖・青木ヶ原樹海 <B>

パーティ：女性4、男性1名 計5名

10月26日(月)晴。本栖隧道入口でタクシーをおり支度をして樹林の中のジクザクになった歩きやすい道をゆっくり歩きちらほら紅葉を探しながら烏帽子岳に着く。電波塔のある頂上から富士山をながめるがカスミがかかっている迫りに欠けていた。前方にパノラマ台が高く見え、樹林の中を下り登りかえしてパノラマ台に着くと多くの登山者が展望を楽しんでいた。我々も頂上から少し離れた所で昼食にした。昼食後稜線をドンドン下り精進湖分岐に来た。精進湖にくだる道標があるだけ、稜線に入りしばらくすると一組が休んでいた。精進湖を右下にみながらアップダウンを繰り返して少々疲れも出てきて不安になって来た頃精進峠の標識が出てきて現在位置を確認出来たがここから精進山へのながい急登が待っていた。精進山で休憩してすぐに三方分山に着くと思ったがもう一山先であった。ここまで来るあいだ前方に王岳がきれいな姿をしていた。広々とした三方分山の頂上を後に急なくだりを慎重にくだり紅葉をみながら女坂峠に着き一安心。岩でゴロゴロした歩き難い道をくだり途中大杉を見物して村浜荘に着いた。こんなにきついとは思わなかったとぼやきが？お疲れさまでした。今宵の宿は貸切り

本栖隧道入口歩き出し 10:10ー烏帽子岳 11:20ーパノラマ台 11:50 (11:50~12:20 昼食タイム)ー三方分山 14:30ー女坂峠 15:20ー村浜荘 16:20

10月27日(火)晴。宿から歩き車の多い国道を赤池へ。精進口登山道に入り岩がゴロゴロした青木ヶ原を歩き樹林の中紅葉は頭上の高い所でぽつぽつ。県道71号線を横断して車両通行止のゲートの脇を通り途中富士風穴の石柱を確認して少々に登りに

なり休憩する。

軽水林道をすぎると自転車等の通行止のゲートが何カ所かありまわりが笹原に変わりしばらくして天神峠にでた。峠で昼食にして早めにタクシーを予約して、ふじてんスノーリゾートへ。しばらく歩くと予約のタクシーが林道を上がってきてラッキー。河口湖へ。駅で解散

村浜荘歩き出し 8:00-赤池 8:30-県道 71 号 10:10-天神峠 12:10 (12:10~12:30 昼食タイム) -タクシー河口湖駅 解散 (阪本 記)

## 《 お 知 ら せ 》

☆ 2月の山行予告

2月6日(土) 棚山・かぶと山 <C> L神戸千賀子

2月13日(土) 名郷バス停から蕨山 <B> L飯田隆一

2月23日(火)~25日(木) 斑尾高原 スキー・スノーシュー L阪本弘二

☆ No. 3,916 の山行は 10月17日(土) の予定でしたが天候不良であったので 12月5日(土) に変更して行います。

No. 3,916 牛飼尾根~三頭山~大茅尾根 <B> L五十嵐知也

12月5日(土) 7:46 高尾発河口湖行=8:08 上野原 8:30 松姫峠行バス=9:35 長作 9:40 歩き出し-1時間30分 1,084m点-1時間登山道合流-30分三頭山-2時間飯尾バス停=上野原駅

歩程: 5時間+1時間・・・6時間 15:40 バス停に着く。

地図: 2.5万図 “猪丸”

費用: 約 3,500 円

申し込み: 前日 19:00 までにCメール又は電話でリーダーへ。

☆ 1月の役員会は1月6日(水) 練馬区役所 19階 1905室 18:00~20:00です

☆ 2月の山行計画及び山行報告を11月30日までに飯田まで提出して下さい。